

令和3年度予算に係る新規及び主要議業一覧

事業番号	事業名・予算額・財源内訳	事業の目的・効果・内容	積算根拠
1	<p>【事業名】 市制50周年記念事業 (主要事業)</p> <p>【予算額】 19,872千円</p> <p>【予算の財源内訳】 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業) 300千円 ふるさとづくり基金繰入金 19,572千円</p>	<p>●事業の目的・効果 昭和46年12月1日の市制施行後、令和3年12月1日に市制施行50年を迎えるにあたり、市制50周年記念事業基本方針に示した基本理念、基本方針に沿った事業を、年間を通して実施する。 これらの事業展開を通して、50周年という大きな節目を市民全体で祝うとともに、本市の礎を築いてきた先人たちのたゆまぬ努力、その功績を見つめ直し、このまに愛着を持ち、誇りに思う機会とし、その思いが、未来のいわくらを築いていく次世代につながっていく。</p> <p>●事業の内容 1『市民の夢 協(かな)えるプロジェクト』 令和2年度に募募した「市実施事業コース」と「委託事業コース」に応募のあった多くの事業の中から採用された事業を実施する。</p> <p>【市実施事業コース】 (1) いわくら今昔WEB写真館 市民から公募して過去から現在までの岩倉の写真を集め、市で保有している写真も含め、それを年代別、場所ごとなどに分け、インターネット上で閲覧できるようにする。 (2) いわくら写真えほんの作成 岩倉の名所を背景に希望する市民の笑顔の写真を掲載した写真絵本を作成する。 (3) 岩倉国際交流まつり 外国人居住者が人口の5%を占める岩倉市の特徴を活かし、外国の食や文化を通じて他国への親しみを醸成し、イベントを通じて日本人と外国人の交流を促す。 (4) 巨大プラレールを作りたい 家ではできないような巨大プラレールを市民参加で作成し、完成後に自分所有のプラレールを走らせる。 ※上記事業については、提案者の意図を尊重するとともに、岩倉市制50周年記念事業審査会での意見等を踏まえ、実施に向けて検討を進める。</p> <p>【委託事業コース】 (1) おしごと体験in岩倉市 市内の小学生を対象に市内事業所ブースによるお仕事体験を通して仕事への興味を生み出すとともに、保護者の市内事業所の認知につながる事業。 (2) オール岩倉産『至極の卵かけごはん ～いわくらTKG～』 既に開発された「オール岩倉産『至極の卵かけごはん ～いわくらTKG～』」をPRする誕生記念イベントの開催、市内飲食店でのメニュー化、認知度向上をめざして取り組む事業。 (3) 五条川かわまちプロジェクト ～ミズベの魅力発信～ 五条川の水辺の過去から今につながるまちづくりの歴史、そしてそれを未来につなげることをコンセプトに五条川の過去・現在・未来について広く市内外の人に伝える事業。</p> <p>2『いわくら名産品(お土産)開発事業』 岩倉を訪れた人がお土産として購入したくなる新しい名産品を開発する。 名産品として採択された10品程度の名産品の開発費を補助するとともに、商品開発に詳しい専門家等と契約を結び、名産品開発に取り組む事業所に助言等を行う。また、要件を満たした既存品を名産品として認定し、開発した名産品と合わせてパンフレットやホームページ等により積極的にPRを行う。</p> <p>3『夢さくら公園利用促進イベント』 令和2年度に整備した夢さくら公園が地元にも愛され、多くの市民に親しまれる公園となるように、健康イベントやマルシェを中心とした利用促進事業を実施する。</p> <p>4『ギネス世界記録に挑戦』 市民参加により、市制50周年を盛り上げ、シビックプライドと市民の一体感を醸成する事業として岩倉らしいギネス世界記録に挑戦する。</p> <p>5『市制50周年記念誌作成』 岩倉市のこれまでの歴史を振り返るとともに、市制50周年を迎え岩倉市の魅力や伝統、市民憲章等、市民との協働によるまちづくりを市内外の人に知ってもらう資料となるように記念誌を作成する。</p>	<p>1『市民の夢 協(かな)えるプロジェクト』</p> <p>・市民の夢協えるプロジェクト事業委託料 6,669千円 いわくら今昔WEB写真館 1,518,000円 いわくら写真えほんの作成 1,261,000円 岩倉国際交流まつり 1,000,000円 巨大プラレールを作りたい 1,000,000円 おしごと体験in岩倉市 1,000,000円 オール岩倉産『至極の卵かけごはん ～いわくらTKG～』 420,000円 五条川かわまちプロジェクト～ミズベの魅力発信～ 470,000円</p> <p>2『いわくら名産品(お土産)開発事業』</p> <p>・印刷製本費 200千円 いわくら名産品紹介パンフレット 200,000円</p> <p>・いわくら名産品開発支援業務委託料 550千円</p> <p>・いわくら名産品開発費補助金 2,000千円</p> <p>・いわくら名産品販売会場使用料 80千円</p> <p>3『夢さくら公園利用促進イベント』</p> <p>・夢さくら公園記念イベント委託料 1,000千円</p> <p>4『ギネス世界記録に挑戦』</p> <p>・ギネス世界記録挑戦サポート委託料 2,090千円</p> <p>5『市制50周年記念誌作成』</p> <p>・市制50周年記念誌作成業務委託料 5,500千円</p> <p>6『共通・その他』</p> <p>・市制50周年記念事業審査会委員報酬 105千円 20,000円×1人×3回=60,000円 5,000円×3人×3回=45,000円</p> <p>・消耗品費 878千円 市制50周年記念オリジナルフレーム切手 1,260円×300セット=378,000円 その他 500,000円(記念事業スタンプラリー、ギネス世界記録挑戦事業、NHK公開放送等)</p> <p>・印刷製本費 800千円 (記念事業スタンプラリー、ギネス世界記録挑戦事業、NHK公開放送等)</p>

令和3年度予算に係る新規及び主要議業一覧

事業番号	事業名・予算額・財源内訳	事業の目的・効果・内容	積算根拠
2	<p>【事業名】 人間ドック費用助成事業 (新規事業)</p> <p>【予算額】 5,714千円</p> <p>【予算の財源内訳】 後期高齢者医療広域連合 受託事業収入 4,118千円 一般財源 1,596千円</p>	<p>●事業の目的・効果 後期高齢者の健診機会を確保することで、健康管理の充実を図り、病気の危険因子の早期発見とその発症や進行を防止するため、令和3年度から人間ドック費用を助成する制度を実施する。</p> <p>●事業の内容 ・対象者 後期高齢者医療加入者かつ保険料の滞納がない人 ・助成金額 10,000円 ・健診項目(国民健康保険の人間ドック費用助成事業のAコースと同じ項目) 身長、体重、腹囲、BMI、視力、身体診察、血圧測定、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、尿検査、心電図検査、便潜血検査、胸部X線検査、血清クレアチニン検査 ・助成方法 (1) 検査費用全額を医療機関へ支払う。 (2) 検査終了後に検査結果(写)と領収書(写)を市民窓口課へ提出する(郵送可)。 (3) 指定の口座へ助成金が振り込まれる。 ・助成対象となる医療機関 市内12医療機関</p>	<p>・通信運搬費 93千円 84円×550通×2回=92,400円</p> <p>・健康診査データ管理業務委託料 121千円 220円×550件=121,000円</p> <p>・人間ドック費用助成金 5,500千円 10,000円×550人=5,500,000円</p>
3	<p>【事業名】 健康マイレージ連携アプリ 事業 (新規事業)</p> <p>【予算額】 183千円</p> <p>【予算の財源内訳】 一般財源 183千円</p>	<p>●事業の目的・効果 健幸都市いわくらの実現のためには、日頃の生活習慣の改善を通して疾病の発症予防に努めるとともに、各種健康診査の受診や適切な治療の継続等により重症化予防を図る必要がある。今後ますます高齢化が進展するなか、健康づくりは個人の取組だけでなく、行政・事業所・市民等が連携し、社会全体で個人の健康を支え、守るための環境づくりが重要であることから、市民の主体的な健康づくりを支える健康マイレージ連携アプリ「あいち健康プラス」を導入し、市民が生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組めるよう環境の整備を図る。</p> <p>●事業の内容 &lt;アプリの概要&gt; 愛知県が健康づくり支援ツールとして作成した、あいち健康マイレージ事業と連携した「あいち健康プラス」は、日々の歩数記録、健康目標の設定、体重・血圧の記録等、生活習慣の改善及び健康管理を支援するアプリである。 市町村版は、岩倉市が設定した内容の「いわくら健康マイレージ事業」の利用ができるものとなっており、健康づくりに取り組むことによりたまったポイントで優待カード「まいか」を取得できる。</p> <p>&lt;いわくら健康マイレージの概要&gt; 対象者 小学生以上の市民及び市内在学・在勤者 実施期間 令和3年5月中旬～令和4年3月31日</p>	<p>・健康マイレージ連携アプリ負担金 183千円</p> <p>&lt;自治体負担金&gt; 愛知県が開発した健康マイレージ事業用のアプリの保守・運営費の一部をアプリを利用する市町村で負担する。令和3年度は16市3町が導入予定。費用負担は令和3年度から発生し、負担額は県から示され、導入自治体数により毎年度変動がある。</p>
4	<p>【事業名】 地域産業活性化支援事業 (主要事業)</p> <p>【予算額】 3,540千円</p> <p>【予算の財源内訳】 ふるさとづくり基金繰入金 2,000千円 一般財源 1,540千円</p>	<p>●事業の目的・効果 中小企業・小規模企業を中心とした地元企業の支援を行うとともに、地域産業の活性化と発展に寄与するため、市・商工会・金融機関等が連携して、事業者の相談機会の確保と起業を含めた支援機能の強化を図ることを目的とする。</p> <p>●事業の内容 平成29年2月に岩倉市商工会内に開設した「ビジネスサポートセンター」への運営支援を通して事業者支援を行うとともに、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた、市、商工会、市内金融機関等を構成メンバーとする「岩倉市地域産業活性化推進協議会」で情報共有や意見交換をしながら、地域産業活性化に資する施策を包括的に実施していく。 また、岩倉市中小企業・小規模企業振興基本条例の推進に向けて事業者や関係団体等との意見交換の場として車座会議を開催する。</p>	<p>・地域産業活性化支援事業委託料 1,000千円 (キャリア教育推進、創業・事業承継支援 等)</p> <p>・ビジネスサポートセンター運営事業費補助金 1,000千円 (週3日 午後1時～4時、1枠あたり1時間、予約制) 人件費及び研修費 1,000,000円</p> <p>・岩倉市地域産業活性化推進協議会負担金 1,500千円</p> <p>・講師謝礼 20千円 車座会議(中小企業・小規模企業振興基本条例) 謝礼 20,000円</p> <p>・消耗品費 20千円</p>

令和3年度予算に係る新規及び主要議業一覧

事業番号	事業名・予算額・財源内訳	事業の目的・効果・内容	積算根拠
5	<p>【事業名】 五条川桜並木保全事業 (主要事業)</p> <p>【予算額】 10,784千円</p> <p>【予算の財源内訳】 ふるさとづくり基金繰入金 10,784千円</p>	<p>●事業の目的・効果 本市の貴重な資源であり、市民の誇りでもある五条川の桜並木を適切に管理する。</p> <p>●事業の内容 日本の桜名所100選に選ばれている五条川の桜を守るため、道路や民地等への高所の支障枝や枯れ枝など計画的に剪定するほか、強風による倒木処理や腐朽した太枝の剪定、過密状態にある箇所の間引き伐採を行う。また、老朽化し倒木等で、河川を損傷する危険性のある桜の植え替えを実施する。</p>	<p>・桜維持管理委託料 10,784千円 枝剪定 4,667,520円 (計画的に区間を定め、道路や民地等への高所の支障枝や枯れ枝などの剪定を実施する。) 桜伐採 970,805円 (五条川桜並木保存会と現場を確認したうえで、過密状態にある箇所の桜の間引き伐採をする。) 枯枝剪定 2,000,000円 (適宜枯れ枝を剪定する。) 桜植栽 3,144,900円 (五条川桜並木保存会と現場を確認したうえで、既存の桜の伐根、伐採等を行い、ジンダイアゲボノ5本に植え替える。)</p>
6	<p>【事業名】 水泳指導支援委託業務 (主要事業)</p> <p>【予算額】 6,838千円</p> <p>【予算の財源内訳】 一般財源 6,838千円</p>	<p>●事業の目的・効果 屋内運動場等複合施設の建設のためプールを取壊した岩倉北小学校や、使用するためには大規模なプール改修が必要になる岩倉東小学校の水泳授業を民間の温水プールを利用し実施する。 このことにより、天候に左右されず授業の実施が可能となるとともに、教職員に加えて複数の指導者が子どもたちに関わることで、よりきめ細かな指導を行うことができ、泳力の向上が期待できる。 なお、令和元年度に検討を行った小中学校プールのあり方では、小学校については、大規模改修時までは各学校のプールを使用し、その後は、順次、民間プール施設の活用への切り替えを基本に検討することとし、中学校については、部活動等に考慮し、計画的な修繕や場合によっては改築しプールを維持していく方針としている。</p> <p>●事業の内容 通常、年度の水泳の授業時間は10単位時間(1単位時間45分授業)必要であるが、1単位時間中には、着替え等を含めるため30分程度の指導になっている。そのため、2単位時間分(30分+30分)を連続で実施することで実際の水泳指導を1回60分、着替え等を含めた実施時間を120分とし、1人当たり5回、温水プールを利用する。 なお、温水プールまでの送迎については、委託事業者の送迎車両を利用するものとする。</p>	<p>・水泳指導支援業務委託料 6,838千円 岩倉北小学校 770円/単位時間×2単位時間×5回×733人=5,644,100円 ※1年生から6年生 733人で積算(送迎車両利用含む。)</p> <p>岩倉東小学校 770円/単位時間×2単位時間×5回×155人=1,193,500円 ※1年生から6年生 155人で積算(送迎車両利用含む。)</p>